

通し番号	4519
------	------

分類番号	22-67-21-23
------	-------------

(成果情報名) ほ乳期の混合飼育が離乳後の子豚に与える影響
[要約] ほ乳期に混合飼育した場合、発育、生存性、休息や摂食行動に影響を与えないが、移動直後の異腹間での闘争行動が多く認められる。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター畜産技術所 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

離乳後の群再編成時のストレスを軽減するため、ほ乳期に混合飼育し、離乳後の子豚の発育、行動等を比較し、養豚における家畜福祉に配慮した飼養方法を検証する。

[成果の内容・特徴]

1 発育調査の結果

平均体重および1日平均増体重は試験区が多いが有意な差は認められない。(表1)。飼料摂取量、飼料要求率は試験区が良いが、有意な差は認められない。また、子豚の治療実施率、事故率は試験区が少ないが有意な差は認められない。

2 行動調査

行動の発現割合では、試験区の休息行動が少なく摂食行動が高いが、有意な差は認められない(表2)。また、同腹・異腹間の行動の発現割合では、敵対行動において移動直後の5週齢目で異腹間に有意な差が認められる( $P < 0.05$ 、図1)。失宜行動の発現割合に有意な差は認められない。

3 血液生化学検査

白血球数、ヘモグロビン量、血小板数、ALB、GLU、BUNは試験区対照区とも正常な範囲内であるが、赤血球数ヘマトクリット値が対照区でやや低く、基準をやや下回っている。TPは試験区対照区とも基準値以下である(表3)。

[成果の活用面・留意点]

1 本試験は1週齢で2腹を混合したものである。

[具体的データ]

表 1 発育調査の結果（平均値±標準偏差）

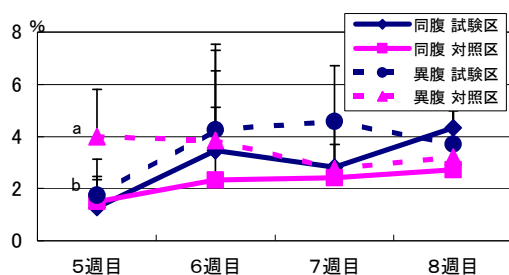
群	試験区		対照区	
	8	8	8	8
頭数	48		48	
1日平均増体重				
開始体重(5週)	(kg)	8.1 ± 1.6	7.8 ± 1.3	
終了重量(8週)	(kg)	16.1 ± 2.8	15.3 ± 1.5	
1日平均増体重	(kg/日)	0.39 ± 0.07	0.36 ± 0.06	
飼料摂取量				
離乳飼料	(g/日)	566.1 ± 152.2	628.9 ± 156.6	
飼料要求率				
離乳飼料		1.65 ± 0.22	1.84 ± 0.34	
治療個体の割合				
のべ治療頭数	(頭)	3.3 ± 3.7	4.1 ± 5.1	
治療実施率	(%)	2.6 ± 2.9	3.2 ± 4.0	
生存個体の割合				
開始頭数	(頭)	6.0	6.0	
終了頭数	(頭)	5.9 ± 0.4	5.6 ± 0.5	
事故率	(%)	1.8 ± 5.1	3.8 ± 6.6	

P>0.05

表 2 行動の発現割合（平均値±標準偏差、%）

	試験区	対照区
休息	44.2 ± 11.9	49.4 ± 13.2
摂食	24.3 ± 8.6	21.5 ± 7.3
その他	31.5 ± 9.1	29.1 ± 12.2

\*:P<0.05



\*:ab<0.05

図 1 敵対行動の発現割合（平均値±標準偏差、\* : P<0.05）

表 3 血液生化学検査の概要（平均値±標準偏差）

群	頭数	白血球数 ×10 <sup>3</sup> /ul	赤血球数 ×10 <sup>6</sup> /ul	ヘモグロビン量 g/dl	ヘマトクリット値 %	血小板数 ×10 <sup>3</sup> /ul	
基準値		11~22	5.0~8.0	10.0~16.0	32~50	330~740	
試験区	8	16	18.4 ± 5.5	5.2 ± 1.5	11.3 ± 1.5	30.3 ± 8.3	482.1 ± 215.6
対照区	8	16	14.5 ± 5.9	4.7 ± 1.2	10.5 ± 1.2	27.4 ± 6.1	431.0 ± 231.9

群	頭数	ALB g/dL	GLU mg/dL	TP g/dL	BUN mg/dL	GLB g/dL	
基準値		1.8~3.3	85~160	6.0~8.0	6~30		
試験区	8	16	2.5 ± 0.4	126.1 ± 9.8	5.2 ± 0.5	11.9 ± 3.4	2.6 ± 0.5
対照区	8	16	2.6 ± 0.4	132.8 ± 10.7	5.2 ± 0.4	11.8 ± 2.0	2.6 ± 0.3

P>0.05

- [資料名] 平成 22 年度試験研究成績書
- [研究課題名] 福祉的要素を取り入れたほ乳・離乳子豚の飼養管理方法の検討  
イ ほ乳期の混合飼育が離乳後の子豚に与える影響
- [研究期間] 平成 20 年度～
- [研究者担当名] 西田浩司、山本 禎  
(共同研究：麻布大学)